
平成26年 壱 岐 市 議 会 定 例 会 7 月 会 議 会 議 録 (第 1 日)

議事日程 (第 1 号)

平成26年 7 月 14 日 午前10時00分開議

日程第 1	会議録署名議員の指名		8 番 市山 和幸 9 番 田原 輝男
日程第 2	審議期間の決定		1 日間 決定
日程第 3	議案第52号	平成 2 6 年度壱岐市一般会計補正予算 (第 3 号)	財政課長説明、質疑、討論なし 委員会付託省略、可決
日程第 4	議案第53号	平成 2 6 年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)	建設部長説明、質疑なし、討論なし 委員会付託省略、可決

本日の会議に付した事件

(議事日程第 1 号に同じ)

出席議員 (16名)

1 番 赤木 貴尚君	2 番 土谷 勇二君
3 番 呼子 好君	4 番 音嶋 正吾君
5 番 小金丸益明君	6 番 深見 義輝君
7 番 今西 菊乃君	8 番 市山 和幸君
9 番 田原 輝男君	10番 豊坂 敏文君
11番 中田 恭一君	12番 久間 進君
13番 市山 繁君	14番 牧永 護君
15番 鵜瀬 和博君	16番 町田 正一君

欠席議員 (なし)

欠 員 (なし)

事務局出席職員職氏名

事務局長	桝崎 文雄君	事務局次長	吉井 弘二君
事務局係長	竹藤 美子君	事務局書記	若宮 廣祐君

説明のため出席した者の職氏名

市長	白川 博一君	副市長	中原 康壽君
教育長	久保田良和君	総務部長	眞鍋 陽晃君
企画振興部長	山本 利文君	市民部長	川原 裕喜君
保健環境部長	斉藤 和秀君	建設部長	原田憲一郎君
農林水産部長	堀江 敬治君	教育次長	米倉 勇次君
消防本部消防長	安永 雅博君	病院部長	左野 健治君
総務課長	久間 博喜君	財政課長	西原 辰也君
会計管理者	土谷 勝君		

午前10時00分開議

○議長（町田 正一君） おはようございます。会議に入る前に御報告します。竜崎新聞社ほか4名の方から報道取材のため、撮影機材等の使用の申し出があり、これを許可いたしておりますので、御了承願います。

ただいまの出席議員は16名であり、定足数に達しております。

ただいまから平成26年竜崎市議会定例会7月会議を開きます。

これから、議事日程表第1号により、本日の会議を進めます。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（町田 正一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。本定例会の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、8番、市山和幸議員、9番、田原輝男議員を指名いたします。

日程第2. 審議期間の決定

○議長（町田 正一君） 日程第2、審議期間の決定についてを議題とします。

お諮りします。7月会議の審議期間は本日1日としたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（町田 正一君） 異議なしと認めます。よって、7月会議の審議期間は本日1日と決定いたしました。

ここで、白川市長より発言の申し出がっておりますので、これを許します。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

○市長（白川 博一君） おはようございます。本日ここに平成26年壱岐市議会定例会7月会議の開会に当たり、御挨拶を申し上げます。

梅雨も後半に入りましたけれども、6月2日の梅雨入り以来、本日までの壱岐の総雨量は観測地点で若干の差はございますけれども、270ミリから280ミリということで、少雨傾向が続いております。議員各位、市民皆様におかれましては、御健勝にてお過ごしのことと存じます。

さて、7月としては過去最強クラスの台風とされた台風8号について、沖縄本島地方などに特別警報が発表されるなど、その影響を大変危惧し、本市といたしましても、その動きを注視しながら警戒態勢をとってまいりました。

7月9日午後1時から、自主避難施設を開設いたしまして、20世帯、28人の皆様が自主避難されたところであります。

その後、台風8号は7月10日、鹿児島県地方に上陸いたしましたが、本市への影響はほとんどございませんでした。しかし、全国各地では豪雨災害や、土砂災害等大きな災害が発生しておりまして、お見舞いを申し上げる次第であります。

台風から遠く離れた地域に豪雨が発生するなど、今回の台風の教訓を生かしまして、これからも防災対策について、万全の対策をとってまいります。

次に、昨日第6回壱岐市消防団消防ポンプ操法大会が行われました。議員各位もご覧のとおり、各チームとも壱岐市消防団の輝かしい伝統を受け継ぎ、すばらしい操法を展開され、その技術の高さに大変心強く感じたところであります。と同時に、団員皆様の長期にわたる訓練に心から敬意を表しますとともに、御家族、地域の皆様、各職場の皆様にも、団員皆様を支えていただき、感謝申し上げます。

今回、小型ポンプ操法の部で郷ノ浦地区第7分団2部が、ポンプ車操法の部で芦辺地区第1分団が見事優勝を果たされました。団員皆様、関係者皆様に心からお喜び申し上げます。

来る8月3日、大村市で開催される第3回長崎県消防ポンプ操法大会での両チームの活躍を御期待申し上げますとともに、優勝目指して頑張ってくださいと思います。

さて、本7月会議に提案しておりますのは、一般会計簡易水道事業特別会計の補正予算案、案件2件でございます。詳細については、担当部長等から説明をさせますので、御審議いただき、御決定を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

日程第3. 議案第52号

○議長（町田 正一君） 次に、日程第3、議案第52号平成26年度壱岐市一般会計補正予算

(第3号)を議題とします。提案理由の説明を求めます。白川市長。

〔市長(白川 博一君) 登壇〕

○市長(白川 博一君) 本日、上程の議案につきましては、担当部長及び担当課長等から御説明をさせますので、よろしくお願いいたします。

〔市長(白川 博一君) 降壇〕

○議長(町田 正一君) 西原財政課長。

〔財政課長(西原 辰也君) 登壇〕

○財政課長(西原 辰也君) おはようございます。議案第52号平成26年度壱岐市一般会計補正予算(第3号)について御説明いたします。

平成26年度壱岐市の一般会計補正予算(第3号)は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ670万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ214億4,106万9,000円とします。

第2項は、記載のとおりでございます。本日の提出でございます。

2、3ページをお開き願います。

第1表歳入歳出予算補正、歳入及び歳出の補正の款項の区分の補正額等については、第1表歳入歳出予算補正に記載のとおりでございます。

次に、8、9ページをお開き願います。

歳入について御説明いたします。10款1項1目特別交付税は渇水対策費の財源として500万円を追加いたしております。

次に、14款2項1目総務費国庫補助金子ども農山漁村交流による地域活性化モデル事業補助金は体験型教育旅行の受け入れに係るメニューや受け入れを展開している本市の実情をコーディネーターにより、効果的に学校現場へ伝え、今後の継続的な受け入れを展開していくための情報基盤づくりを行うこととし、6月2日に国の内示を受け、今回10分の10の170万円を追加いたしております。

次に、歳出については別紙資料の平成26年度7月補正予算案概要で御説明いたします。

資料の2、3ページをお開き願います。

4款1項1目保健衛生総務費。簡易水道事業特別会計繰出金は、渇水事業に対し、繰出金500万円を補正いたしております。

次に、6款1項4目観光費子ども農山漁村交流による地域活性化モデル事業委託料の170万円の補正は体験型教育旅行のコーディネーターによる受け入れ側及び送り出し側の意向実態調査を壱岐市観光連盟へ委託し、壱岐市の特性を生かした体験と体験交流民宿への宿泊の受け入れを市内小学校との交流により実施し、受け入れ時の調整及び事後検証等を実施することといたして

おります。詳細につきましては、この後担当部長から説明をいたします。

以上で、平成26年度壱岐市一般会計補正予算（第3号）について説明を終わります。御審議のほどよろしく願いいたします。

〔財政課長（西原 辰也君） 降壇〕

○議長（町田 正一君） 山本企画振興部長。

〔企画振興部長（山本 利文君） 登壇〕

○企画振興部長（山本 利文君） おはようございます。それでは、6款1項4目の子ども農山漁村交流による地域活性化モデル事業の内容につきまして、補足して御説明を申し上げます。

この事業は、総務省、文部科学省、農林水産省が連携しまして、平成20年度から取り組んでおります子ども農山漁村交流プロジェクト、これは小学校における農山漁村での宿泊体験活動を推進するプログラムでございますが、このプロジェクトが開始されてから5年が経過しまして、事業推進上の課題が整理されました。その中の大きな課題であります受け入れ側と送り手側の調整機能不足等を解消すべくお互いをつなぐコーディネーターを配置するという平成26年度のモデル事業として実施されるものです。今回国からの内示がありましたので、補正予算としてお願いしております。

具体的には、壱岐市観光連盟に委託をしまして、観光連盟が教育旅行に精通したコーディネーターを委嘱しまして、受け入れ側と送り手側の調整、宿泊体験活動を支援するというものです。

送り手側のターゲットとしましては、九州北部の福岡県そして熊本県を考えております。コーディネーターは受け入れ側と送り手側それぞれの実態調査、意向調査を行いまして、事業実施への調整、指導、助言、そして実施後は検証、報告書を作成しまして、次年度以降の事業につなげていきたいと考えております。

今年度、送り手側の学校を20校調査を実施しまして、来年度はそのうち、2校の来島を目標としているところでございます。以上で説明終わります。よろしく御審議のほどお願いいたします。

〔企画振興部長（山本 利文君） 降壇〕

○議長（町田 正一君） これから質疑を行います。質疑ありませんか。鵜瀬議員。

○議員（15番 鵜瀬 和博君） 観光費の今部長が説明された子ども農山漁村交流による地域活性化モデル事業についてお尋ねをいたします。

今回コーディネーターを新たに配置をされるということですが、このコーディネーターについては観光連盟のスタッフなのかお尋ねをいたします。

また、今回調査される学校については九州北部と熊本の20校を調査されるようですけども、この20校については新規なのか、それとも以前から教育旅行を利用されている方なのかという

のをお聞きしたいと思います。

また、逆に大事なところは、今まで壱岐に来てたけども、教育旅行の旅行地を変えたというようにそういった部分のアンケート調査についてはどのようにされるのか。今後の対策として、使われるわけですが、その辺の新たな開発についてはどんどんすべきですが、逆に、旅行先をやめたという部分のその調査も必要じゃないかと思うんですが、その辺についてはどのようにされるのかお尋ねをいたします。

○議長（町田 正一君） 鵜瀬議員の質問に対する理事者の答弁を求めます。企画振興部長。

○企画振興部長（山本 利文君） 鵜瀬議員の御質問にお答えいたします。

まず、一つ目のコーディネーターですが、今予定しておりますのは、大手旅行会社を昔経験されまして、今教育旅行のコーディネーターを自分でされている方を内々に承諾をいただいているところでございます。

そして、今回の福岡そして熊本からの誘客につきましては、今まで学校単位ではなくて、福岡地区であれば、大野城市であるとか、うきは市であるとかっていう学校は来ていただいていたんですが、今まで学校単位で、クラス単位での教育旅行は今のところゼロの実績になっておりますので、そこから来年度は2件につなげていきたいというふうに考えております。

3点目の、今まで来てたところが来なくなったところにつきましては、今年度も来年度も引き続きまして、このコーディネーター事業とは別に観光連盟の職員が毎年関西地区を中心に今回っておりますので、その対策はそれで検討していきたいというふうに考えておるところです。以上でございます。

○議長（町田 正一君） 鵜瀬議員。

○議員（15番 鵜瀬 和博君） もちろん、これまでどおり教育旅行については広島、大阪、関西方面については、観光連盟及び現場の旅館あたりと一緒に営業行かれてるというのも十分わかってるんですけども、一番問題はこれまでかなりの多くの修学旅行が来てた中で、現在、子供の数も減ってるという部分はあるんですが、何で壱岐に来なくなったんだろうかという部分が一番大事じゃないかと。

壱岐の場合は、体験メニューもかなり豊富でありますし、かなり魅力のある島だとは思いますが、何でそこでコースをやめて、ほかにしたのかという部分が次につながると思うので、そのあたりも十分営業に行かれた際にはヒアリングも含めて今後に生かせるように、ぜひ調査を含めていただきたいと思います。

要請だけしておきます。よろしく申し上げます。

○議長（町田 正一君） ほかに質疑ありませんか。豊坂議員。

○議員（10番 豊坂 敏文君） 水道会計の繰出金の関係ですが、これも関連がありますから、

この活用について将来的に臨時的な湧水対策だけの対応か、あるいは将来的には、動力も、これは常設化やって、応急対策だけじゃなくて常備施設として活用するなら、電気料金との関係、これについても検討する必要があると思いますが、どういのお考えがあるかどうかをお願いします。

○議長（町田 正一君） 豊坂議員の質問に対する理事者側の答弁を求めます。建設部長。

○建設部長（原田憲一郎君） 豊坂議員の御質問にお答えします。

常設か、暫定かということでございますけども、今回後ほど御説明申し上げますけども、大きく分けまして350万円と150万円に区分しております。この中で、350万円の分については恒久的という形でございます。それが150万円分については暫定的ということでございまして、私どもの考えでは、昨年度実績を参考にしまして今回こういう形で上程させていただいたわけでございますけども、昨年も実績としましては、30万円余りリース料、その程度で済んでおりまして、恒久的に谷江水源までの強化、これは現段階では必要ないのではないかと判断しております。以上でございます。

○議員（10番 豊坂 敏文君） いいです。あとは特別会計で聞きます。

○議長（町田 正一君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（町田 正一君） 質疑ありませんので、これで質疑を終わります。

お諮りします。議案第52号については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（町田 正一君） 異議なしと認めます。よって、議案第52号については委員会付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（町田 正一君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第52号を採決します。この採決は起立によって行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（町田 正一君） 起立多数です。

よって、議案第52号平成26年度壱岐市一般会計補正予算（第3号）は原案のとおり可決されました。

日程第4. 議案第53号

○議長（町田 正一君） 次に、日程第4、議案第53号平成26年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）を議題とします。提案理由の説明を求めます。原田建設部長。

〔建設部長（原田憲一郎君） 登壇〕

○建設部長（原田憲一郎君） 議案第53号平成26年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）、平成26年度壱岐市の簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）については次のとおり定めるものでございます。

歳入歳出予算の補正第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ500万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億7,198万8,000円とします。本日の提出でございます。

2項は記載のとおりでございます。

2から3ページには第1表歳入歳出予算補正、5ページからは歳入歳出補正予算事項別明細書を記載しております。

8ページをお開きください。

2、歳入ですが、一般会計繰入金として、500万円を追加しております。

10ページをお開きください。

3、歳出ですが、1款総務費の2目施設管理費に500万円の追加をしております。

補正の内容は丸田水源、これは旧採石場跡地でございますけども、ここからの放流水を効率的に取水するため、下流にございます片山水源ポンプ場まで硬質塩ビ管を440メートル敷設するものでございます。これは、勝本ダムの下に設置しております浄水場へ不足する水道水のもととなります原水を送水する対策でございます。

この費用は15節の工事請負費と16節の原材料費などに合計350万円を計上しています。また、昨年と同様に、谷江水源の取水強化対策としまして、この丸田水源から河川に放流して、谷江川の水量の増加を図るものでございます。

谷江水源は谷江川に通称風船ダムと呼ばれている施設が設置されておりますけども、ここをせきとめた水、これを芦辺浄水場に送水をしているシステムでございます。この河川の流量が激減しますと取水に支障を来します関係で、このような対策を考えております。

このため、丸田水源から初尾川に放流して合流する谷江川の流量の増加を図る対策ということになります。

この放流にはポンプと発電機が必要になりますので、機械類の借り上げと燃料費約60日分考えております。これが合計で150万円でございます。

放流は谷江川のダムから越流する程度を目安に調整しながら実施する予定にしておりますけれども、この対策については谷江川の水量が極端に減った段階で対策を講じることとしております。

気象庁のデータによりますと、本市芦辺でございますけれども、1年間の平年降水量、これは昭和56年から平成22年までの30年間の平均値ということになります、年間降水量は約1,900ミリ程度でございます。過去で最も低い年間降水量が平成6年、1994年でございますが、939ミリで、この年の6月までの降水量は739ミリでした。

ことは6月末までの雨量が芦辺で521ミリと極端に少なく、極めて厳しい状況でした。7月に入りまして、2日から3日と、6日から9日、そして昨日の13日で恵みの雨があったわけでございますけれども、この間に気象庁のデータによりますと、7月に入ってから209.5ミリの雨量を観測しております。これによりまして、貯水池は回復の傾向にございますけれども、平年降水量から見ますと、今申しましたように極めて厳しい状況でございます。

これから、夏の本番を迎えることとなりますので、渇水対策としての諸準備を行う必要があると考えております。この夏を乗り切る早めの対策としまして、このたびの補正予算を計上しておりますので、御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

〔建設部長（原田憲一郎君） 降壇〕

○議長（町田 正一君） これから、質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（町田 正一君） 質疑ありませんので、これで質疑を終わります。

お諮りします。議案第53号については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（町田 正一君） 異議なしと認めます。よって、議案第53号については委員会付託を省略することに決定いたしました。

これから、討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（町田 正一君） 討論なしと認め、これで討論終わります。

これから、議案第53号を採決します。この採決は、起立によって行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（町田 正一君） 起立多数です。よって、議案第53号平成26年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）は原案のとおり可決されました。

以上で、予定された議事は終了しましたが、この際お諮りします。

7月会議において、議決されました案件について、その条項、字句、数字その他整理を要するものにつきましては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思いま

すが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（町田 正一君） 意義なしと認めます。よって、そのように取り計らうことに決定しました。

○議長（町田 正一君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

以上をもちまして、平成26年度壱岐市議会定例会7月会議を終了いたします。

本日はこれで散会いたします。お疲れさまでした。

午前10時24分散会

地方自治法第123条第2項の規定により、署名する。

平成 年 月 日

議 長 町田 正一

署名議員 市山 和幸

署名議員 田原 輝男